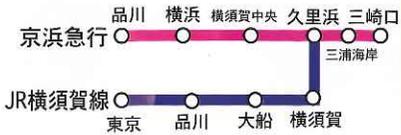


三崎への交通アクセス

■ 電車で



■ 自動車で



お問い合わせ先
 ◆ 海南神社
 ☎ 0468-81-3038
 ◆ 三浦市観光インフォメーションセンター
 ☎ 0468-88-0588



編集・製作
 海の美術館内デザイン工房
 「遊企塾」



食の神様



命雁六鹿磐

相州海南高家神社

三浦総鎮守 海南神社 境内社
 相州海南高家神社建立奉賛会
 三浦市観光協会三崎支部



尊影制作 まぼりほうげんよしたか 馬堀法眼喜孝 画伯

- 略歴 明治40年 横須賀に生まれる
大正12年 紅葉会肖像画美術院創立
昭和28年 日本肖像画美術協会初代総裁
- 作品 歴代(123代)天皇肖像<10号日本歴史館>
法然上人一代記 26点<智恩院>
織田、豊臣、徳川三将の像<名古屋城>
ほかに多数の大作があります。
- 磐鹿六雁命 尊影 油絵(寸法横5.0m 縦4.0m)

いわかむつかりのみこと 食の神様<磐鹿六雁命>

磐鹿六雁命は、人皇12代景行天皇が日本武尊東征の後を三浦半島から安房・上総へ巡行された時、天皇の料理賄方を司った神として、食に関わる人々から根強い信仰を集めています。

三浦市は自然豊かな生産のまち、観光のまちで 海山の物産に恵まれています。

自然の恵みに感謝を捧げ、食文化の向上を願い、食の神様(磐鹿六雁命)を千葉県千倉町の高家神社から分社、お迎えしたものです。

包丁を奉納殿に納める方は社務所に申し出て下さい。



包丁奉納殿

使い終わった包丁を納めます。



食の神様祭の行事内要

包丁塚

原始、人々は料理に石包丁を使いました。その後、鉄の包丁の出現は、食生活を豊かにしました。

包丁は人の生活に欠くことの出来ない永遠の伴侶です。

包丁塚は務めを終えた包丁に限りない愛着と感謝を捧げ、あわせて鳥獣魚菜の霊を慰める墓標です。

包丁塚は、食の神、磐鹿六雁命が鎮座まします海南神社の神域にこそ相応しいものです。刀が武士の魂であるように、包丁は料理人の魂です。

限りない物質文明の中で、万物に感謝をする思いを込めて、包丁塚があります。



海南神社由来

祭神は藤原資盈(すけみつ)公で、982年(天元5年)現在地に建立されました。

三浦郡の総鎮守として、明治6年郷社に指定されました。境内には源頼朝の手植といわれる、雌雄の大銀杏(樹齢800年)があります。

また三浦一族が源平合戦に臨んでその吉凶を占うため境内で紅白の狐を闘わせ、白狐の勝を観て頼朝に味方したと伝えられています。



奉納料理

年に一度、三浦の腕前が披露されます。

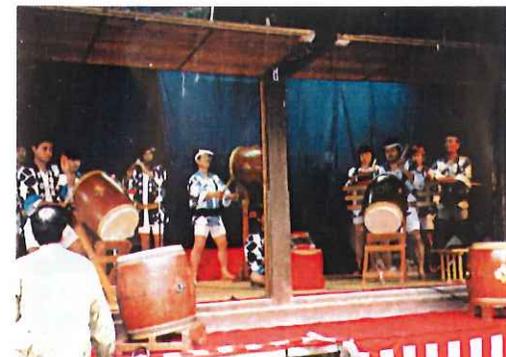


まぐろの刺身試食会

三浦の料理人による、三崎まぐろの刺身がサービスされます。



包丁式(四糸流)



ぶちあわせ太鼓

(海南神社祭り囃子保存楽囃会)